



S.Katsura

## THE ANTARES STAKES

## 第30回 アンタレスステークス (GIII)

1着 38,000,000円 2着 15,000,000円 3着 9,500,000円 4着 5,700,000円 5着 3,800,000円  
付加賞 462,000円 132,000円 66,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 57kg、牝馬2kg減、2024.4.13以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3kg増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G II競走またはG III競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.4.12以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

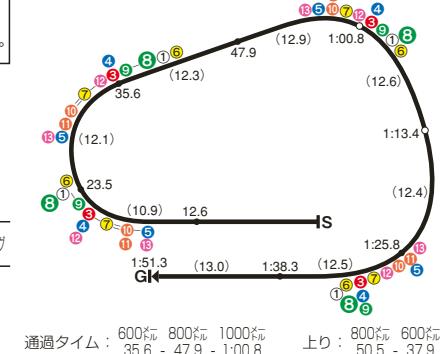
2025.4.19 阪神 晴・良 ダ1800m (国際) (指定)

順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
1	⑧	ミッキーファイト	牡	4	58	C.ルメール	1:51.3	2-3-2-2	37.8	544(-6)	1.81	田中博康(美浦)	115	
2	⑦	タイトニット	牡	5	57	坂井瑞星	2 1/2	8-8-8-7	37.6	564(-4)	39.40	今野貞一(栗東)	108	
3	⑩	ライオンズワール	牡	6	57	松若風馬	2 1/2	9-9-9-9	37.5	526(-4)	274.40	東田明士(栗東)	107	
4	③	ミッキーヌチバナ	牡	7	58	M.デムーロ	1 1/4	5-5-5-4	38.4	520(+2)	19.67	高橋 充(栗東)	107	
5	⑯	ブレイクフォース	牡	6	57	北村友一	2 1/2	11-11-12-12	37.3	490(-2)	37.90	中館英二(美浦)	107	
6	④	オメガギネス	牡	5	57	戸崎圭太	2 1/2	5-5-5-4	38.4	504(+10)	10.24	安田翔伍(栗東)	107	
7	⑨	ヤマニンウルス	牡	5	58	武 豊	2 1/2	4-4-4-4	38.9	584(+2)	4.80	齊藤崇史(栗東)	107	
8	①	サンデーファンデー	牡	5	59	鮫島克俊	1	2-2-2-1	39.4	530(-6)	16.15	東田明士(栗東)	107	
9	⑤	ホウオウルーレット	牡	6	57	岩田康誠	アタマ	11-11-11-10	38.2	498(-2)	30.48	栗田 徹(美浦)	107	
10	⑥	マーブルロック	牡	5	57	松山弘平	2	1-1-1-2	39.7	520(±0)	18.26	西園正都(栗東)	107	
11	⑪	マリオロード	牡	6	57	幸 英明	3/4	9-10-9-10	38.8	502(-6)	296.10	安達昭夫(栗東)	107	
12	⑫	ハギノアレグリアス	牡	8	58	岩田望來	大差	5-7-7-8	41.7	496(-2)	7.43	四位洋文(栗東)	107	
取消	②	トウセツ	牡	6	57	田口大成							杉山佳明(栗東)	

単勝①180円(1番) 複勝①110円(1番) ⑦530円(9番) ⑩2,520円(12番) 枝連⑤-⑥660円(4番)

馬連⑦-⑧2,160円(8番) ワイド⑦-⑧1,050円(11番) ⑧-⑩7,610円(47番) ⑦-⑩29,790円(61番)

馬単⑥-⑦2,520円(10番) 3連複⑦-⑧-⑩138,570円(137番) 3連単⑧-⑦-⑩299,860円(489番)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
35.6 - 47.9 - 1:00.8 1:50.5 - 37.9

## アラカルト

- C.ルメール騎手はアンタレスS初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算162勝目
- 田中博康調教師はアンタレスS初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算11勝目
- ドレファン産駒はJRA重賞通算6勝目
- 4歳馬の勝利は21年テーオーケインズに続く通算8回目
- ヤマニンウルスの馬体重584kgは、09年アロンダイトの564kgを更新する、本競走出走馬の最高馬体重記録
- 複勝2,520円、ワイド29,790円は各式別における本競走の最高払戻金額
- トウセツは疾病(感冒)のため出走取消

# ミッキーファイト *Mikki Fight*

牡 栗毛 2021.5.5生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・野田みづき氏 美浦・田中博康厩舎  
馬名意味、冠名土がんばれ

		パロクサイドGB系 F8-1	
ドレフォンUSA Drefong 鹿毛 2013	Gio Ponti 鹿毛 2005	Tale of the Cat	
		Chipeta Springs	
	Elitmaas 鹿毛 2007	Ghostzapper	
		Najecam	
スペシャルグルーヴ 栗毛 2007	スペシャルウィーク 黒鹿毛 1995	サンデーサイレンスUSA	
		キャンベンガール	
	ソニックグルーヴ 鹿毛 2003	フレンチデビュティUSA	
		エアグルーヴ	

5代までのインブリード: Deputy Minister M4 × S 5

## INTERVIEW

高見優也 櫻金長(ノーザンファーム空港)

安心してレースを見ていました

距離が短いと思っていたフェラリースでも3着に好走していたので、改めて力をつけているなと思いました。今回はフェラリースから距離が1.5km延び、メンバー的にも勝ち負けの競馬になると期待していましたが、道中は安心してレースを見ていられました。間隔を取ったローテーションで使ってもらっていることも、ここに来ての充実ぶりに表れていると思います。

父ドレフォンUSA

北米9戦6勝(B Cスプリント<sup>G1</sup>、キングズビショップ<sup>S<sup>G1</sup></sup>、フォアゴー<sup>S<sup>G1</sup></sup>)、米チャンピオンスプリンター、18年から併用

【代表産駒】ジオグリフ(皐月賞G1、札幌2歳S G3)、アドマイヤデイトナ(UA EダービーG2)、アンデスピント(関東オータクスJpnII)、ミッキーファイト(本馬)、デシエルト(中日新聞杯G3)、若葉S・L、アンドロメダS・L、グリーンチャンネルC・L)、ウォーターリヒト(東京新聞杯G3、キャピタルS・L)、コンシリエーレ(オアシスS・L、兵庫チャンピオンシップJpnII 3着、サウジダービー・沙G3 3着)、テオードレフォン(福島民友C・L、エルムS G3 3着)、サマルウインド(信越S・L)、ワープスピード(メルボルンC・豪G1 2着)、タイセイドレフォン(レバードS G3 2着)、マスクオールウイン(フェアリーS G3 2着)、ヒストリックノヴァ(エーデルワイス賞JpnIII 2着)、カワキタレブリー(NHKマイルC G1 3着)、フロインフォッサル(羽田盃JpnI 3着)

## 母スペシャルグループ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央2戦0勝

ドリームチェイサー(12 牡父ハービンジャーGB)中央14戦1勝

フェイズペロシティ (13 牝父キングカメハメハ) 中央26戦3勝(グッドラック H)

カヴェルナ(15 牝父キングカメハメハ)不出事

グレーヴィット(16 牡父ロードカナロア)中央25戦4勝(中京記念GⅢ、タンザニアT、S<sub>0</sub>p、アルカンS<sub>GIII</sub>2着、北九州短距離S<sub>0</sub>p 2着、京王杯スプリングC<sub>GIII</sub>3着、春雷S、L3着)

ジュンライトボルト(17 牡父キングカメハメハ)中央25戦7勝(チャンピオンズC<sub>GI</sub>、シリウスS<sub>GI</sub>、BSN賞・L、むらさき賞、鞍ヶ池特別、フローラルウォーク賞、ジュライS・L2着、橘S・L2着)、地方1戦0勝、首、沙2戦0勝、種牡馬  
(18 牡父ロードカナロア)

ピュアグループ(20 牧父ドレフォンUSA)由虫12戦2勝(4)

**ミッキーファイト** 本馬(21 牡父ドレフォンUSA)中央6戦4勝(アンタレスS<sub>G3</sub>、レペードS<sub>G3</sub>、フェラブリーリーS<sub>G1</sub> 3着、ユニコーンS<sub>G3</sub> 3着)、地方2戦1勝(名古屋大賞典J<sub>p3</sub>、ジャパンダートクラシックJ<sub>p1</sub> 2着) 累積賞金195,287,000円

獲得総貢益183,387,000円

ヤノマスハイロ(22)  
(24 號)

(24 牡父レイテオ日)

頂点に向け仕切り声  
ゴールの先に帝王賞を見据えるアンタレスSにはダートの重賞ウイナーが5頭参戦。なかでも成長力に富む4歳馬ミッキーファイトが単勝1・8倍と圧倒的な支持を集めた。2着に10番人気のタイニーニット、3着にも11番人気のラインオブソウルが食い込み、3連単は29万超え、の高配当が記録されたレースだが、ミッキーファイトは横綱相撲といえる勝ちぶりで期待に応え、頂点のタイトルに向けて仕切り直しその一步を踏み出した。

逃げの戦法で実績を積み上げてきたマーブルロックが、重賞初挑戦のことも主導権を奪取。しかし2番手のサンデーデーファンデーにピッタリとマークされ

A group of men in suits standing on a green track, holding a horse banner with the number 8 and the name 'ミヨーナイト'. The banner is white with red stars and green text. The men are holding red and white ribbons. In the background, a horse is being led by a person in a blue uniform. The track is green with yellow and white markings. There are spectators and a building in the background.

ドレフオン産駒の本馬は2歳秋の初陣からダート戦に照準を定められてキヤリアを重ね、昨年8月のレバーデンで重賞初制覇。ジャパンダートクラシックの2着を挟み、暮れの名古屋大賞典では古馬勢を抑えて勝利を飾った。一番人気の支持を集めたフェブライアは馬群の外々を回らされる形となり、小差の3着に敗れたものの、この日は中身の濃い内容で重賞3勝目をマーク。"フォーエバーヤング世代"の実力馬は上半期のダート中距離王決定戦・帝王賞に向かい、再び戴冠に挑む。

れ、息を入れる場面がないまま風を切る。2頭と互角の勢いで飛び出したマニーネウルスのC・ルメール騎手は一歩引いて3番手につけ、対抗候補と目された昨年のプロキオンSの覇者やマニーネウルスは4馬身ほど離れた4番手を追走。出走馬中最も多い重賞3勝を記録、3番人気の支持を集めた古豪ギノアレグリアスは中団を進んだ。プレッシャーを受けながら逃げたマーブルロックは4コーナーで失速。これを呑み込んだサンデーファンテーと外に迫ってきたヤマニンウルスを悠々と引き離したミッキーファイトは横並びで直線に向いたが、手応えの差は歴然としていた。食い下がるサンデーファンデーを競り落とし、抜け出してか

22 優駿 Book in Book — 2025 vol.4